

専門研修「医師」

【日 時】	令和3年7月9日（金） 9：00～12：30
【会 場】	特別区職員研修所
【受講者数】	22名
【講 師】	国立研究開発法人 国立国際医療研究センター 国際感染症センター長 大曲 貴夫 氏
【研修内容】	<p><目的> 医療に関する最新の専門知識を習得し、地域医療活動能力の向上を図る。</p> <p><内容> 新型コロナウイルス感染症対策の振り返りと今後の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでの国内の新型コロナウイルス感染症対策における評価できる点と改善点 ・今後対応すべき課題について <div data-bbox="954 1025 1327 1303" style="text-align: center;">  </div> <p style="text-align: center;"><講義の様子></p>
【受講生の声】	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスについて、これまでのまとめから今後の展望まで明確に整理することができました。 ・臨床の最前線の話を知ることができ、また、写真なども見ることで、理解が深まりました。 ・モニタリング会議の解説や、様々な調査結果、データ等を教えていただき、今後自分がモニタリング等をしていく上で取り入れたいと思いました。 ・保健所では、入院されてからの治療や状況を知る機会が少ないため、大変参考になりました。 ・新型コロナウイルス感染による後遺症は、時間の経過とともに改善するというデータを見せていただきました。今後、患者さま等から後遺症について相談を受けた際、そういったお話をお伝えしつつ、必要な医療へつなげていきたいと思いました。